取扱説明書番号 E254-RGXZ

RHYTHM

電波時計　取扱説明書
（電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則とし有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005
（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品裏面に表示してある製品番号（型番）をお伝えください。例 4RL○○○

（Y1407）

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
（必ず守る）
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことを守る
（禁止）

- ●電池に傷をつけない。
- ●電池を分解しない。
- ●電池をショートさせない。
- ●電池を充電しない。
- ●電池を加熱しない。
- ●電池を火の中に入れない。

電池から漏れた液に触れない

- ●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
  アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- ●液漏れしたときは、電池を取り外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
（必ず守る）
逆向きに入れると液漏れや発熱の原因となります。

強い振動や衝撃を与えない
（禁止）
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

ぬれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

分解や改造をしない
（分解禁止）
けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない
（禁止）
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- ●直射日光が当たる所。
- ●暖房機器からの風が直接当たる所。
- ●温度が+50℃以上の所。
- ●温度が−10℃以下の所。
- ●火気のそば。
- ●ほこりが多く発生する所。
- ●強い磁気を発生させる機器のそば。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●プール、温泉場などガスの発生する所。
- ●調理場など多くの油を使用する所。
- ●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

GUARANTEE 保証書

※品名・型番

※保証期間　お買い上げ　　年　　月　　日より　1年間

お客様　ご氏名　　様
ご住所
ＴＥＬ（　　）　　ー

※販売店印（住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。
尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- ●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- ●この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケースなどの小キズ）。
8. 電池の交換。

※　送料・出張料は、実費をいただきます。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- ●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●幼児の手が届かない所に置く 。

電池の種類について

- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- ●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池・製品の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- ●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	−10 ～ 50℃　*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度　秒針　±1秒　時分針　目盛りに対して ±3度 標準電波を受信しない場合　平均月差 ±20 秒（温度が5～35℃のときのクオーツ精度）
使用電池	単3形黒マンガン乾電池 JIS 規格 R6PU　1個　または　単3形アルカリ乾電池 JIS 規格 LR6　1個
電池寿命	約1年　受信に成功し、秒針停止7時間 / 日、アラーム：30 秒 / 日　照明：4秒 / 日 使用時
アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム音	電子音（鳴り方が変化）
アラーム精度	表示時刻に対して0秒
スヌーズ	あり
オートストップ	あり
音量調節	なし
照明光源	麦球
電池交換時期お知らせ機能	なし
防水機能	なし
電波受信機能	電波を受信して時刻を自動修正
受信局	福島局 / 九州局　自動選択
受信 ON/OFF	可能
受信結果確認	２５時間以内に受信に成功しているときに、スヌーズボタンを押すと受信確認音が鳴る
受信回数	最少　1日1回　最多　1日6回　受信状態により受信回数は変化。
受信開始時刻	2時、3 時、4時、12 時、13 時、14 時　各時間帯の１６分２０秒に受信開始 ＊2 時１６分２０秒は必ず受信を行う

※電池を交換する際は、容量が大きい単3形アルカリ乾電池を使用することをお勧めいたします。
●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

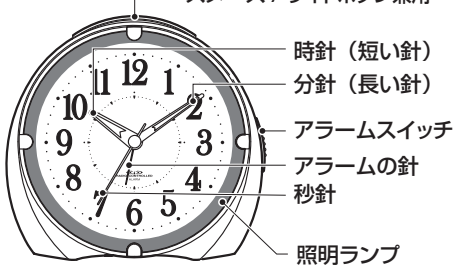
付属品　電池　1個、　取扱説明書･保証書　　本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

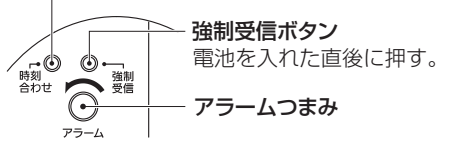
各部の名称を役割

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

（正面）



（裏面）

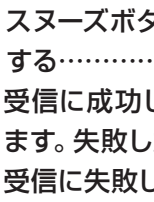


針の動き……通常の時刻表示

時針・分針　：10秒に1回動きます。
秒針　　：1秒ステップで動きます。

※自動受信により、時刻を修正するときに早送りで移動したり、停止することがあります。

電池を入れるときは、電池ぶたを開閉してください。

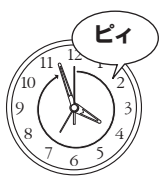


⚠注意　電池の⊕⊖を逆向きに入れると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

1 使いはじめるとき　電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ** をお読みください。

【受信の流れと結果の確認】



強制受信ボタンを押すと確認音が鳴ります。**鳴らない場合は、電波受信機能がOFFになっています。**

4、8、12時のいずれかの時刻に移動して停止します。受信を開始します。

15分程度で受信終了

スヌーズボタンを2秒間押して受信結果を確認する。

受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

●**確認音は、**電池を入れたとき、強制受信ボタンを押したとき、アラームスイッチをONにしたときに、電子音で「ピィ」と鳴ります。

●**受信確認音は、**標準電波の受信に成功しているときに、スヌーズボタンを約2秒間押し続けると電子音で「ピィピィ」と鳴ります。受信に失敗している場合や電波受信機能がOFFのときには、鳴りません。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ **電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形乾電池を入れると確認音が鳴ります**

❷ **強制受信ボタンを押す**
確認音が鳴り、**針は**、4、8、12時のいずれかに移動して、**受信が終わるまで停止します。**
電池を入れた後は、誤作動防止のため必ず強制受信ボタンを押してください。

❸ **受信が終わるまで待つ**
2～15分後に受信が終了し、針が早送りで時刻位置に移動します。
受信中は、操作ボタンには触れないでください。

❹ **スヌーズボタンを押して受信結果を確認する**……**【受信の流れと結果の確認】参照**
受信に成功した場合、受信確認音が鳴ります。失敗した場合は鳴りません。
受信に失敗した場合は、
電波を受信できない場合 を参照。

○受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

○受信が成功しているのに、時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

電池の交換について　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

⚠注意　**電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。次のことをお守りください。**

●時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。

電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所になるべく時計の正面または裏面が向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する
屋外、たとえばベランダなどで標準電波を受信させるか、手動で時刻を合わせてください。通常のクオーツ時計としてご使用になれます。

手動での時刻合わせ……電波を受信できないとき、任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

●標準電波を受信できない場合の時間精度はクオーツ精度になります。
●受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても電波の受信に成功すると時刻を修正します。

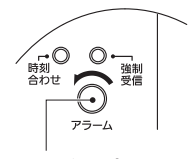
手順

ボタン操作をしていないのに、針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。

○時刻合わせボタンを**押してすぐに離すと1分進みます。**
○時刻合わせボタンを**押し続けると早送りします。このとき秒針は止まります。**

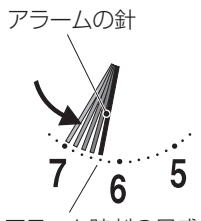
秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離した時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。秒針が12時位置に止まっていないときは、秒針は早送りで現在時刻に移動します。

2 アラーム機能を使う



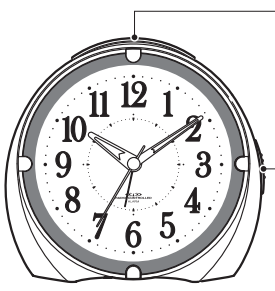
アラームつまみ

必ず矢印方向に回す



アラーム時刻の目盛

操作例　6時20分にセット
アラームつまみを回すと、10分単位に「カチ」とクリック感があります。アラームの針を7時に合わせ、6時方向に4回「カチ」とさせてください。



■ アラーム時刻の設定

アラームつまみを、**必ず矢印の方向に回して、**アラームの針をアラームを鳴らす時刻に合わせます。

●アラーム時刻は10分単位で設定できます。
●アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなることがあります。

■ アラームスイッチの設定

ON　設定時刻にアラームが鳴る。
ONにすると「ピィ」と鳴り、**秒針は12時位置で停止します。**

OFF　鳴らさない、鳴っているアラームを止める。
ONからOFFにすると、秒針が時刻位置に早送りで移動します。

スヌーズ機能…止めてもまた鳴る

スヌーズボタンをアラームが鳴っているときに押すと、約5分間アラーム音を停止してからまた鳴り出します。
この機能は、アラーム時刻から20～60分間繰り返し使えます。アラームを完全に止めるには、アラームスイッチをOFFにします。

オートストップ機能…自動鳴り止め

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて自動的に止まります。
アラームスイッチはONのままです。

アラーム音の試聴

①アラームスイッチをOFFにする。
②アラームの針を時計の時刻に合わせる。
③アラームスイッチをONにする。
アラームを止めるときはOFFにする。

アラームご使用上の注意

●アラームスイッチがONのときは、午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。
●アラームの音量は調節できません。

3 照明機能を使う

スヌーズボタンを押している間とボタンを離してから約4秒間はランプが点灯します。

トラブル?

時刻合わせボタンで時刻をアラーム時刻に合わせても、アラームが鳴らない
アラームスイッチを OFF にしてからONにするとアラームが鳴り出します。

アラームスイッチをONにすると秒針が止まる
電池の消耗を抑えるために、秒針を12時位置に止めます。

強制受信ボタンを押しても確認音が鳴らない
電波受信機能がOFFになっています。→ **電波受信機能のON／OFF操作** 参照

電波時計とは

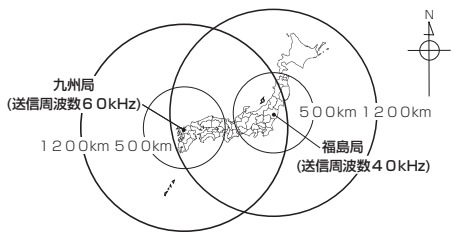
クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。　(http://jjy.nict.go.jp)

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの中、ビルの谷間、地下
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●テレビ、エアコン、蛍光灯、パソコンなどの家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

強制受信ボタンを連続して4回押してください。
強制受信ボタンを押すタイミングは、**確認音が鳴り始めたらすぐに押してください。**
受信機能がOFFになると、強制受信ボタンを押しても確認音は鳴りません。
▶時刻は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

時刻合わせボタンを押しながら、**強制受信ボタン**を押してすぐ離し、その後に**時刻合わせボタン**を離します。確認音が鳴り、照明が点滅します。この後、**必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。**

○この説明の中で「押す」は「押してすぐ離す」ことを意味しています。
○操作のタイミングによっては、ON/OFF が切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
○受信機能がOFFのときに、電池を取り出しても設定を長い時間保持します。受信機能をONにするには、左記の説明に従って操作してください。
電池を取り外して、回路内に電荷がなくなると受信機能はONになります。
○受信機能がOFFのときに、強制受信ボタンを押すと早送りでおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。